

SciREX 政策形成実践プログラムの進め方について (案)

1. 背景

- 「科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」推進事業」の目標の達成に向け、既存のプログラム（政策課題対応型調査研究、公募型研究開発プログラム、データ・情報基盤の構築、基盤的研究・人材育成拠点の形成）の取組を一体的に牽引・主導するとともに、得られた成果を政策形成にいかすため、新たに「SciREX 政策形成実践プログラム（平成 25 年度政府予算案 1.3 億円）」を実施する。
- 政策課題「予知・予防を重視した健康長寿社会の実現」を例に、平成 26 年度概算要求に活用されるよう、政策オプションの素案（プロトタイプ）を作成する。

2. プロトタイプのイメージ

- 政策課題「予知・予防を重視した健康長寿社会の実現」に対して、目指すべき 2030 年の社会像（目標、指標）を設定すること。
- 作成された社会像を実現するために必要となる諸方策とそれらによる社会的・経済的インパクトの構造を明らかにするとともに、その根拠となるエビデンスや分析手法を特定すること。
- プロトタイプの不確実性や将来の発展可能性を明らかにした上で、（必要となる諸方策の組み合わせによる複数の）シナリオを作成するとともに、それに基づくロードマップを作成すること。

3. 目指すべき 2030 年の社会像 (案)

- 現役世代の健康寿命の延伸とともに、医療費や介護費の抑制につながる取り組みを推進すること。